

●本製品は、模紙があらかじめ張ってありますので、工事中は梱包状態のまま室内の安全な場所に保管してください。

▲注意

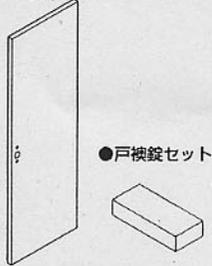
- 丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後、ガタツキがないことを確認してください。
- 扉を吊込んだ後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上端まで上がっていないと、本体が脱落するおそれがあります。

■施工上のお問い合わせ

- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付ドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っているか確認してください。

■部品・部材の明細

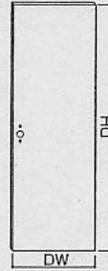
●ドア本体



■戸襖錠セット

レバーハンドル、台座セット	1組
戸襖錠台座セット	1組
台座取付けねじ(φ4×35)	2本
台座取付けねじ(φ4×20)	1本
ハンドル固定ねじ(φ4×16)	1本

※丁番セットは、枠の梱包に入っています。



(単位: mm)

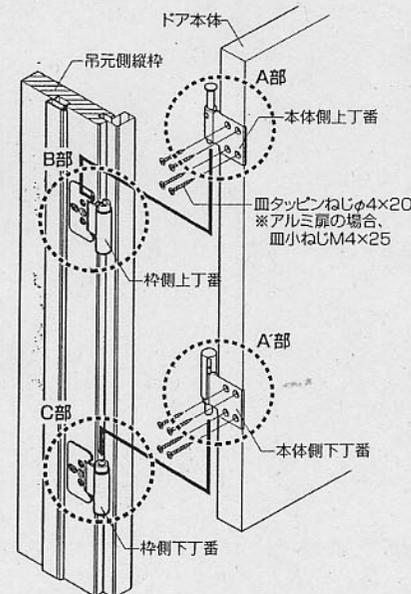
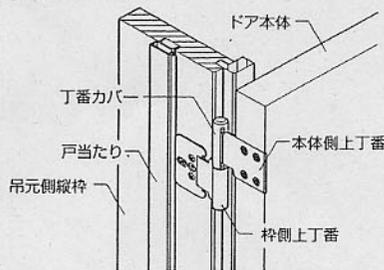
戸襖 ドア	呼称		DW	DH
	在来 工法向け	0718	686	1791
2x4 工法向け	0720	686	1991	
2x4 工法向け	0618	678	1741	
	0620	678	1941	

※新和風(SL)の戸襖ユニット枠を使用した場合の寸法です。

■取付け順序

1 ドア本体の取付け

■取付け完成図



■取付け詳細

1 ドア本体の取付け

- ①ドア本体に、本体側丁番を皿タップピンねじφ4×20(枠側丁番にテープ止め)で取付けます。(A・A'部)
- ②本体側下丁番のカバーを上げます。
- ③本体側上丁番のカバーを外してください。
- ④本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(A部) ※軸は8mm程残した位置で止まります。
- ⑤本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(C部) ※本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
- ⑥本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。
- ⑦本体側上丁番の軸を止まるまで下げてください。(D図)
- ⑧本体側上丁番のカバーを取付けます。 ※枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑨本体側下丁番のカバーを下げます。 ※枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。

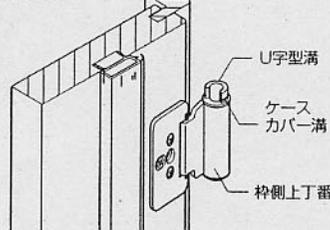
▲注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。
- 丁番固定ねじの締忘れ・緩みなどは、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじ及び丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。

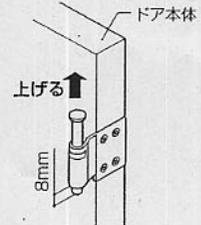
■お願い

※本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。
 ・直射日光の当たる場所
 ・昼夜などで温度差の激しい場所
 ・湿気の多い場所
 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。
 ※長期にわたる本体の立て置き保管はせずに、寝かせた状態での保管としてください。
 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

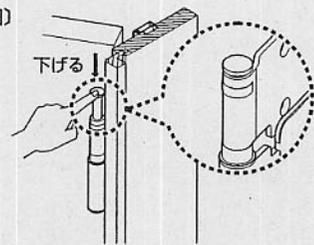
■B部詳細図



■A部詳細図



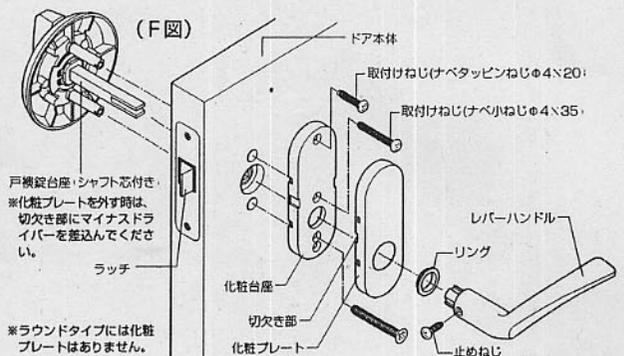
(D図)



2 把手の取付け

1 化粧台座と戸襖錠台座を室内・室外から組合せ、小ねじで仮締めます。(F図)

- ①化粧台座と戸襖錠台座を室内・室外から組合せ、小ねじで仮締めます。(F図) レバーハンドルと戸襖錠台座を両側からセットし、ハンドルが軽く回転することを確認した後、台座を小ねじとタップピンねじで本締めます。
- ②いったんハンドルを抜き、化粧プレートをはめ込みます。
- ③ハンドルを差込み、ねじで固定します。

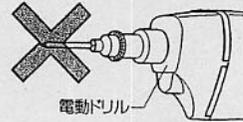
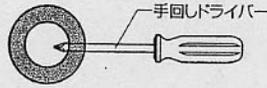


戸襖錠台座・シャフト芯付き。
 ※化粧プレートを外す時は、切欠き部にマイナスドライバーを差込んでください。

※ラウンドタイプには化粧プレートはありません。

■建付け調整 (丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
 ※電動ドリルは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



上下の調整

- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(3mm)、下(3mm)です。

不具合例	調整方法
1. ドアの上部が枠に当たる。	①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。 ③キャップをはめる。

不具合例	調整方法
2. ドアの下部が枠に当たる。	①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。 ③キャップをはめる。

左右の調整

- 枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。

不具合例	調整方法
1. ドアの開き側が枠に当たる。	①固定ねじを緩める。 ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。

不具合例	調整方法
2. ドアの開き側のすき間が大きすぎる。	①固定ねじを緩める。 ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。

前後の調整

- 枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。

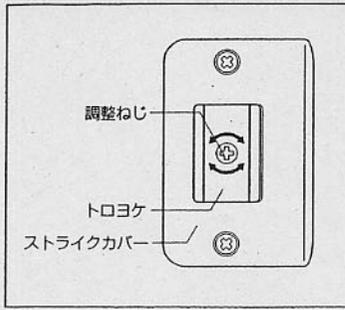
不具合例	調整方法
1. 開き側の枠が前に出ている。	①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。 ③固定ねじを締める。

不具合例	調整方法
2. 吊元側の枠が前に出ている。	①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。 ③固定ねじを締める。

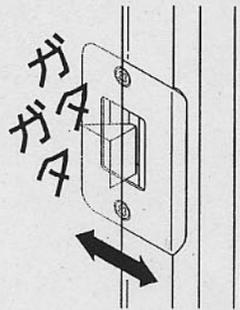
不具合例	調整方法
1. 開き側の枠が前に出ている。	①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。 ③固定ねじを締める。

不具合例	調整方法
2. 吊元側の枠が前に出ている。	①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。 ③固定ねじを締める。

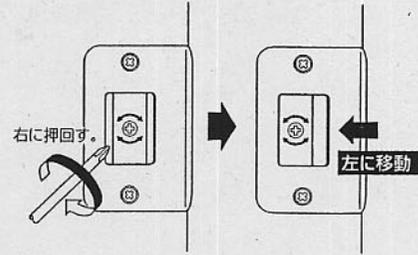
■建付け調整 (ストライクによる調整)



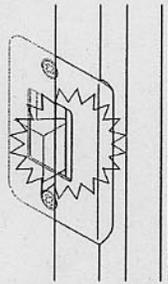
■ラッチがストライクの中でガタつく



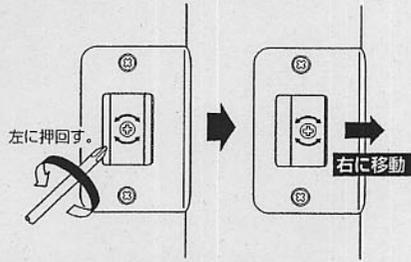
●調整ねじを押しながら、右に回してください。
無段階で移動します。



■ラッチがかからない

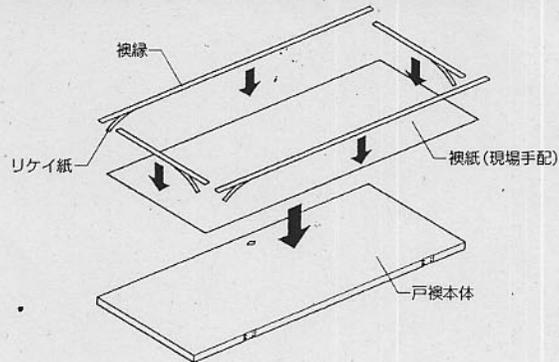


●調整ねじを押しながら、左に回してください。



■戸襖の現地張り

- 生地タイプ(K-2)の戸襖の場合は、現地で襖紙を張ってください。
- ①本体の生地面側(白色)に襖紙を澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で張ります。
- ②襖縁を、本体の寸法に合わせノコギリで切断します。
- ③襖縁のリケイ紙をはかし、襖紙の上から圧着してください。
- ※襖縁の厚さは2種類あります。厚い方を縦に、薄い方を横に使用してください。
- ※現場手配した襖紙を張った場合は、次回の張替え時から上に張増ししてください。



お願い

- クロス張りにしないでください。ソリが生じます。